

「富山ニュービジネス協議会」新春例会

平成 29 年 2 月 3 日（金）18:00～20:30

於：ANA クラウンプラザホテル富山

第一部 記念講演講師：富山県知事政策局 局長 新田 一郎 氏

講演テーマ 「憲法改正と地方創生について」

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター：林副会長

パネラー：新田局長、濱副会長、松田委員長

テーマ 「地方自治の現状、真の地方創生について」

すっかり、新春らしさもなくなってしまうしていますが、富山 NBC 新春例会を開催いたしました。当日は用意していた資料の数を上回る、約 100 名の皆さまにご参加いただきました。（会員外含む）記念講演においては、県知事政策局長の新田氏をお迎えし、「憲法改正と地方創生について」と題して、ご講演をいただきました。憲法改正と地方創生??? という感じではありましたが、実際にご講演いただいた内容は、切れ味鋭い、的を得た、明快な、大変わかりやすい、お見事なご講演内容でした!! ご参加いただいた皆さまからも、大変満足度の高い大好評のご講演となりました。パネルディスカッションにおいても、林（副会長）コーディネーターの軽快な取仕切りで、会場の参加者の方もうまく巻き込みながらの進行で、更に思慮が深まりました。





参加者の皆さまからいただいた感想の一部をご紹介します。

局長のお話は目から鱗でして憲法改正と地方創生の関連性が学ぶことができ貴重な機会でした。そしてパネルディスカッションの中では、観光においてモノからコトへと移行しているなかモノ(伝統工芸)もありコト(日本文化や景観)といった様々な潜在能力を持っている富山県、また見える価値と見えない価値が他国や他県から来る人にとっては必要と思っており見えない価値を更に磨きあげる必要性を感じました。その中で如何にその入口である交通の利便性を高める(特に空便)必要性を認識しました。更に効率的且つ有効的に富山県の魅力を感じて頂くために沿岸部構想は大いに賛同致しました。

新田局長の話はとても分かりやすく興味深い話でした。なぜ憲法改正と地方創生がリンクするのかがよくわかりました。が、あの話が国会議員の中で俎上に乗っていないというのは残念でしたが…パネルディスカッションは話題が多岐にわたり、難しかったです(苦笑)。地方創生、東京一極集中の是正には議員さんも含め地方が連携していかなければいけないと思うのですが経済や観光の話になるとどうしてもvs 金沢的な話になってしまい、それでいいのかなあとも思いました。

「地方創生と憲法改正」正直今まで考える機会がございましたが、お話を聞き、今後の日本の未来を意識するととても貴重な機会となりました。初めて聞く言葉も多く、iPadでワード検索をしながら聞いており、思考が追いつかない場面も多々ございました。しかしながら、このまま放っておくと富山県の未来は厳しく、水面下では様々な発想、アイデアを膨らませて今出来る最善を尽くそうとしている事がわかりました。

(大都市出身者で成り立っている国会がある限り不利な状態という事もとても衝撃でした。)

貴重な機会をいただき、誠に有難う御座いました！

今後の富山県の行動にしっかりと目を向け、新しい視点で見られることにワクワクしております！

有難う御座いました！

自分と自分の子供たちの人生を富山、そして日本が抱える問題を人口の観点から照らし合わせて考える時間をいただきました。確実に人口が減ると言われている中、日本の人口を増やす事は難しいですが富山の人口減少を減らす努力は私たちの考え次第で可能にする事ができるとおっしゃっていただけのお話でした。

昨日は大変貴重な機会を与えてくださりありがとうございます。今後への不安や憂いを感じた一方で、我々がどうにかしないといけないという責任感を感じました。具体的に自分ができる事は小さいことかもしれませんが、協力しあうことで何かを動かせるのではないかな、と感じました。

昨日はありがとうございました。いつ当てられるかドキドキしながら聞いていました(笑)

内容は憲法改正、観光、移住、空港と多方面に渡り、この富山県をよくするアイデアのヒントがたくさん詰まっておりますととても勉強になりました。特に憲法改正が地域における発展にかなり重要である話は林さんも常々言っておられたので、スーッと入ってきました！！ただ周りの人達の反応はすごく驚いていたような感じで、この話は全く浸透しておらず、もっと伝えていく必要があると感じました！！

またニュービジネスの会だけあってやはり行政だけでなく民間と行政が両輪で地域に何が出来るのかという観点も重要と感じ、経営者との交流が自分にはもっと必要と思いました。

あと地域通貨のアイデアは面白く、年配の方だけでなく県外から来た大学生に使える、もっと広がるのかなと思って聞いていました。大学生と地域との繋がりを強くすれば定住者も増えるのかなと！！

今から誰もが経験した事のない人口減少社会の中で卒に当てはまらないアイデアが必要と改めて思われた会でした。ありがとうございます。

昨日は、ありがとうございました。久しぶりに、地域そして天下国家について思いを巡らせる良い機会になりました。新田さんのご講演は、地域創生について世界との比較や憲法、選挙制度と非常に分かりやすく、目から鱗でありました。

人口一極集中の日本社会だが、今のように衆参共に1票の格差で議員定数を割り当てるのは、地方切り捨て以外のなにものでもない事を、改めて痛感□□参議院に当たるものは、アメリカ、ドイツ、フランスは地域代表からの府と位置づけ、有権者数に左右されない。フランスなどは上院の8割が地方議員と兼職しているという。ご存知のようにアメリカは50州×2名であり、人口格差は実に70倍、このようにして地方分権に沿った選挙をなしているのである。かくして、衆議院と参議院の役割も明確になり、地方も生きる。

その為には憲法改正するしかない事が浮き彫りにされた研修会でもあった。

参席者より「憲法に書かれている平等だけでなく、公正公平さこそ必要」との意見には、心底納得である。

局長の話、そして皆さんそれぞれの意見、思いが熱く感じられました。しかし、一番感じたのはメディアは一体何しているのかということでした。局長の話の地方創生には憲法改正が必要なこと、そして1票の格差をどんな視点で捉えていくかその辺をもっとニュース、記事、解説して県民に伝える必要があるのに、、、って。私自身考えさせられました。